



アスンシオン通信

シーズン2

日付: 2025 年 9月25日 no.35

発行者: 田邊紘起

Hola a todos ! Que tal? Como están?

2026年に開催されるワールドカップ予選が9月4日にありました。パラグアイ対エクアドルの対戦でした。試合は0対0でし

たが、この結果からパラグアイが中南米代表としてワールドカップに出場することが決まりました。これは16年ぶりということ
で、パラグアイは国を挙げての大盛り上がりです。試合が終わると、あちらこちらで花火の音が止みませんでした。そして何より驚いたのは、パラグアイのペーニャ大統領が「パラグアイの全国民の夢が叶ったから明日は祝日にする。全国民で祝おう!」と決めたことです。ということで5日は突然祝日になりました。本当にサッカー熱がすごい国だと感じました。ちなみに4日の試合の日は、どこに行ってもみんなパラグアイ代表のユニフォームを着ていて、国民全体で応援していることがよくわかりました。10月10日にはそのパラグアイ代表が日本で試合をします。パラグアイはアルゼンチン、ブラジル、コロンビアと同じように南米のサッカー強豪国です。サッカー好きの人もそうでない人も、ぜひパラグアイチームを応援してください。

アスンシオンのスーパーマーケットに行ってみた！

さて、今回は私たちがふだん食べ物や生活用品をどこで買っているか紹介します。私は家族のお弁当やご飯を作るための材料をアスンシオンに何店舗もある「スーペルセイス」というスーパーによく買いに行っています。このスーパーのどんなところが日本のスーパーと違うのかを探してみました。

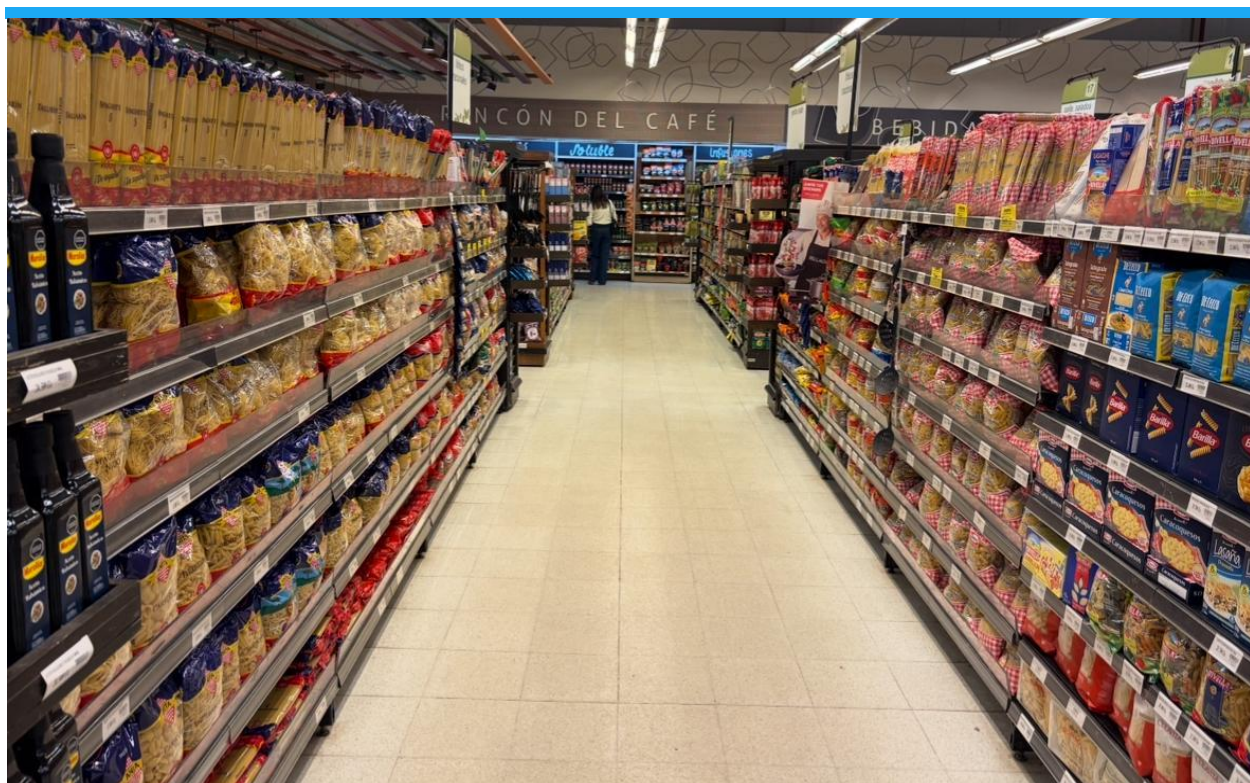


アスンシオンに何店舗もある24時間営業のスーパーマーケット=superseis

【売っているもの】 野菜やフルーツ、パン、お肉などの生鮮食品、ジュースやマテ茶などの飲み物、お菓子の他に、洗剤、モップなどの掃除用品、文房具、車用品、パラグアイでは絶対必要なパーティ用品など、とても品ぞろえが豊富です。このスーパーだけで、だいたい身の回りの物はそろうと思います。



パーティーグッズやおもちゃは欠かせません！=superseis



パスタの種類がとても豊富=superseis





パン食が多いので、食パンやハンバーガー用のパン、トルティーヤのような薄いものが多い。日本で人気の「惣菜パン」は売ってない。=superseis

また店の入口には、季節に合わせておすすめ商品が飾り付けられて並んでいます。店に入った時、「おっ！」と目を引きます。



入口を入るとセール品がきれいに飾ってあり目を引く=superseis

【駐車場】 アスンシオンには十分な駐車場がない店が多く、多くの人が道路に車に停めて用事を済ませますが、スーパーマーケットには大きな駐車場があります。よく見ると、店の入口近くに

車椅子のマークが書かれた駐車スペースがありました。体が不自由な人への心配りは日本と同じですね。



お店の入口近くにある車椅子マークの駐車スペース=superseis

【商品を売る工夫】 できたての惣菜を自分で容器に入れ、重さを計って値札をつけてもらいます。とてもいい香りがしてきて、すぐに食べたくなります。私は食べたい気持ちを我慢して買い物を続けました。店内には試食コーナーが設けてあり、「食べて！試して！」と店員さんが声をかけてきます。お客はみんな遠慮することなく、ぱくぱくと気が済むまで食べています。カウンターには、それでもなくならないほどたくさんの試食品が並べられています。





奥の厨房で作られた料理がホカホカのまま並べられ、自分で容器に入れて買う。スーパーのイートインスペースでも食べられる。=superseis

【量り売りでほしい量を買える】 お肉コーナーでは欲しい量を伝えて肉を切ってもらい買うことができます。お店の冷蔵棚は大きなブロック肉の塊しか並べられていないので、欲しい量だけ買えるのはありがたいです。薄切りにしてもらうこともできます。



肉の種類と量を伝えると目の前で大きな包丁で切ってくれる=casarica

【インターネットでも買える】 お店のインターネットサイトから注文することができ、家まで届けてくれるスーパーもあります。私は試したことはないのですが、インターネットの注文票をもとに野菜を袋に詰めている店員さんや民家にスーパーの配達車が停まっているのをよく見かけます。自家用車を持っていない人や体が不自由な人にとっては嬉しいサービスです。



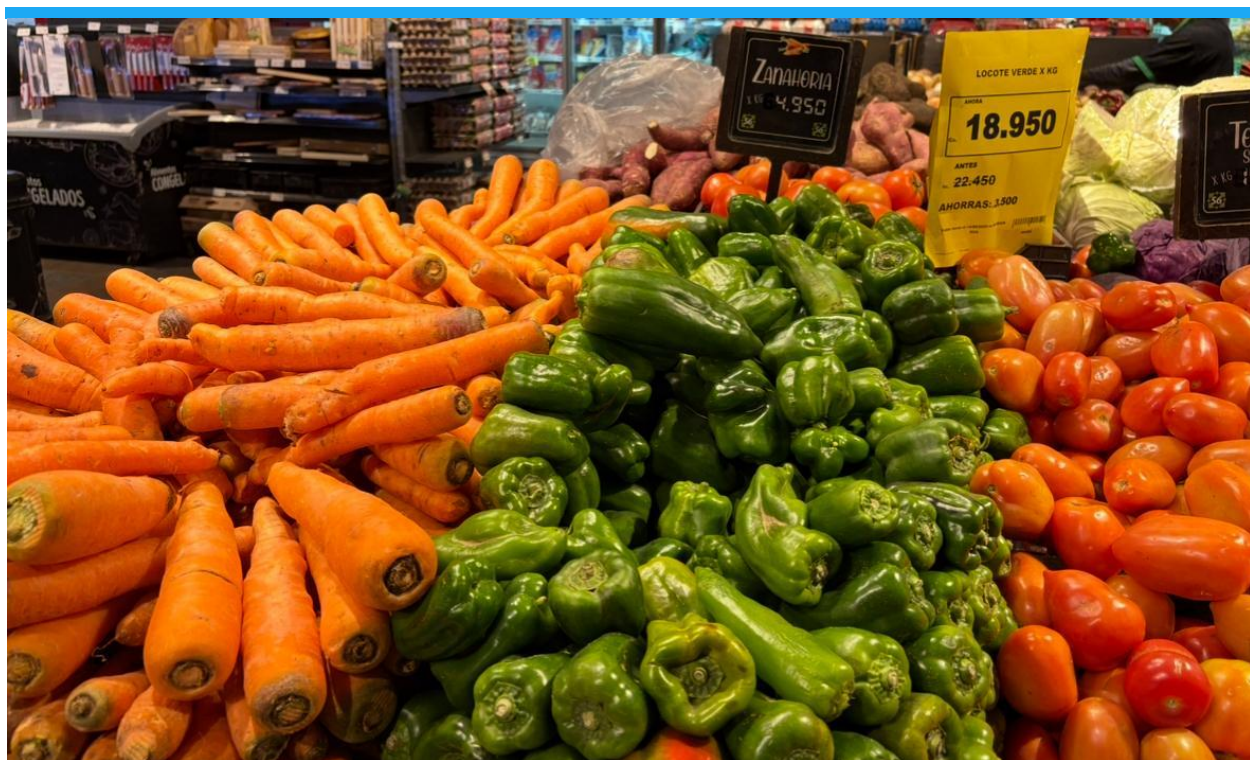
インターネットで注文された品物はトラックで届けられます=自宅前

【わかりやすい陳列】 商品の棚に看板がついているので、どこに何があるのかわかりやすくなっています。通路から見えるので買いたい商品がどこにあるか探しやすいですね。



看板を見るだけで買いたいものが探しやすい=superseis

【生産地はどこ？】 山盛りに積まれている野菜です。値札はあるものの、どこで生産されたかの表示はありません。日本のスーパーは「三次産」とか、必ず生産地が明記されていますよね。



(上) 山のようになされた野菜=superseis

(下) 自分で袋に入れて重さを測り、値札をつけてもらう=superseis

【ちなみに…】 こちらの店ではカートに買い物カゴを載せて使うことはありません。カートにそのまま商品を入れます。また、レジに商品を移した後はカートを片付けることなく、空いたところに置いたまま帰る人が多いです。そのため、他のお客さんはそのカートをさけながらレジに並びます。カートがたまってきたら店員が集めて回ります。この様子を初めてみた時は「いったい何があったの!？」とびっくりしました。



レジ前の通路は空のカートでいっぱい=superseis

タイトル写真について

街にはマンゴーやオレンジなど、いろいろな木が植えられているのですが、先日カラフルな木を見つけました。道路に沿って植えられているヤシの木がパラグアイカラーに塗られていました。この3色を本当に愛しているパラグアイ人です。

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

スペイン語は日本語や英語とは数の数え方が違います。スペイン語で1を表す「Uno（ウノ）」はカードゲームの名前で知っている人がいるかもしれませんね。今日は10まで紹介します。

①Uno（ウノ）②Dos（ドス）③Tres（トレス）④Cuatro（クアトロ）
⑤Cinco（シンコ）⑥Seis（セイス）⑦Siete（シエテ）⑧Ocho（オ
チョ）⑨Nueve（ヌエベ）⑩Diez（ディエス）

次回について

パラグアイのスーパーマーケットは買い物をする人にとって便利で、買いたくなる工夫がたくさんありました。日本のスーパーはどうか。いろいろな見方でスーパーマーケットを探検してみるのもおもしろいと思います。次回はパラグアイの生活で私たちが少し困ったことについて紹介します。

Chao chao ! nos vemos !